

## 平成 25 年度 第 1 回番組審議委員会

開催日時：平成 25 年 9 月 10 日（火）17:00～18:20

開催会場：J C V 本社 2 階 会議室

出席者：（審議委員）

委員長 中川周一氏、

委員 池田弘氏、小出佳子氏、品川久美子氏、西村俊夫氏、平澤則子氏（五十音順）

（J C V）

代表取締役社長 宮澤英文（挨拶のみ議事欠席）、

常務取締役業務本部長 丸田健一

業務本部放送部長 山岸 潤（事務局）

議 事：

1. 開会
2. 挨拶 上越ケーブルビジョン 代表取締役社長 宮澤英文
3. 委員紹介 番組審議員名簿にて紹介
4. 委員長選出 立候補者不在で、委員より事務局一任との事から中川氏を指名いたし承認される。
5. 挨拶 委員長 中川周一氏
6. 議事

### （1）コミュニティーチャンネルの番組編成について

（山岸）

「放送番組の編集に関する基本計画」「上越ケーブルビジョン番組基準」「コミュニティーチャンネルの媒体概要」を示し説明した。

（中川委員長）

番組づくりのコンセプトとして「地域が元気になる」「利用参加型の番組」との説明もあった。

（池田委員）

妙高チャンネルに 4 年間かかわり番組づくりの難しさを実感。地域の人がマスコミに顔が出ることで元気が出る。地域密着の番組制作がケーブルテレビの大きな役割。

（小出委員）

地域の情報をリアルタイムで受け取ることができる。国府小学校や近隣の子供が取り上げられることでとても励まされ、保護者からも反応がある。参加型で地域密着の情報を伝えてもらえるのは、ありがたううれしい。

（品川委員）

幅広いジャンルで放送している。祇園祭では全ての町内を取り上げ、地域の人の活躍を感じることができた。

（西村委員）

上教大も取り上げてもらっている。地域密着の情報を伝えることは大切なこと。日常に密着したところにメディアがあることは、これからの社会の在り方を考えるときにますます要請が増える。現在の方向性で進めてもらいたい。

（平澤委員）

コンセプトがよく伝わる番組づくりだ。

番組の割合で「その他」が 7 割を占めるがどんな番組か？

（山岸）

深夜時間帯のテレビ通販が多く時間を占めているため。

（中川委員長）

委員のみなさんからは、「非常に励まされる」「地域が明るくなる元気になる」「地域密着は大切」とあらためて指摘。今後の番組編成に生かしていただきたい。

(2) レギュラー番組について

(2) - 1 JCVニュース つばめステーションについて

(山岸)

今回は、上越市地域協議会の検証会のニュースについて、取材担当者が出演して解説した項目、及び、上越まつり高田民踊流しの会場から中継を取り入れた内容について説明。

(池田委員)

行政系の内容は難しくなりがちだが、解説を取り入れることでわかりやすくなる。ただし、1回みただけではわからない箇所もあったり、アナウンサーが紹介した言葉が解説者の説明の中になかったりと、もう少し内容を整理すると良い。放送時間帯については考慮されていると思う。19時のNHKニュースを見た後、19時半から地域のニュースがみられる、また、繰り返し放送も見る機会が増えてよいと思う。

(小出委員)

難しい内容は通り過ぎてしまいかねないが、解説を取り入れることで立ち止まって見ることができる。また、18:30からの放送は、仕事をしていると見ることができないが、繰り返し放送をされているからその後の放送を見ることができる。夕方、「〇〇が紹介されているよ」と電話をもらって、繰り返し放送でその内容を確認できる。

(品川委員)

いろいろな協議会、評議会が地域の中にはあるが、選択の基準を教えてください。

(山岸)

その時々で、地域の関心が高いと思われること、地域にとって特に重要と思われることを、まず、考慮して選定している。

(西村委員)

解説があるとわかりやすい。地域協議会の検証会と聞いただけでは素通りしてしまうかもしれないが、解説を入れることで見ることができる。ただ、どこまで解説するのか難しいところ。解説を入れすぎると一方的な見方に偏る恐れがあり難しいところではあるが、取り組みとしては良い方向性だと思う。

(平澤委員)

おせん米の放送で、各町内の作法の違いなど、解説があるとわかりやすいが、生放送では難しいのか？

(山岸)

以前は各町内からご年配の方に出演していただいていたので、その中で、各町内の作法等の話があったかもしれない。現在は、お子さんの顔を出してほしい、との声を多く頂戴していることから、事前に収録した練習風景のVTRを番組の中で紹介している。

(池田委員)

おせん米の放送を視聴したところ、祭りの由来や概要について、地域の人たちにはわかるのだろうが、他の地域の人にはわからないのではないかと。

(山岸)

番組の冒頭におせん米奉納行事の紹介を、前日までの行事のVTRを交えながらお伝えしている。

(中川委員長)

途中から見た人にもわかる工夫ができればよいのではないかと。

(池田委員)

番組を見ていると、必ず妙高市話題が入っている。全体的に上越市話題が多い中で、妙高市話題が取り上げられることは、妙高市民としてはうれしいことだが、妙高市の取材の配慮もしているのか。

(山岸)

上越市話題に偏りすぎることがないように、バランスがとることを心がけている。しかしながら、全体として上越市での行事等が多いことから、上越市の取材の方が多傾向である。以前は、

妙高いちばんという番組を妙高市さんと一緒に制作していた。そのように編成全体の中でもバランスを考えてもいる。

(中川委員長)

皆さんの意見は、総じて解説がわかりやすいということだが、担当する記者は大変だろうが、これからも力を尽くしてほしい。

## (2) - 2 ポテトおいしい 60 分について (生活情報バラエティー番組)

(山岸)

上越地域のグルメやショップ、レジャー等を紹介するなど説明した。今回は、女性の中で受け入れられつつある、手軽なアウトドアクッキングをテーマとした「青空女子会」を説明。

(池田委員)

おいしそうな映像で楽しめた。

(西村委員)

映像もきれいで、楽しそうな映像だった。

## (3) 夏の特別番組について

### (3) - 1 上越地域夏まつりについて

(山岸)

生中継で実施した上越地域の夏まつりについて、「上越まつりおせん米奉納行事」、「あらいまつり 40 周年記念花火大会」、「謙信公祭 (出陣行列・川中島合戦の再現)」について説明をした。

(中川委員長)

先ほど、先生方から指摘がありましたが、途中から見た人がよくわかるように、工夫をしてもらいたい。また、今回、あらいまつりの 40 周年記念花火大会は初めての生中継だが、妙高市で何か反響はあったのか？

(池田委員)

この花火大会では、家族のメッセージがこめられている。そのメッセージが番組でもアナウンスとテロップで表示されるので、花火は小さいけれども、この花火には地域の人のこのような想いがこもっているのか、というのがわかってよかったと思う。

ただし、花火の音が、テレビで見ていると伝わってこなかった。

(山岸)

集音マイクは設置しているが、現場の音に比べると迫力はどうしても見劣りしてしまう。また、家族のメッセージのコメントについては、このようなメッセージが読み上げられるのなら次は自分もあげてみたい、というコメントもあった。

(池田委員)

番組で表示される視聴者のコメントはどのようにやっているのか？

(山岸)

番組で QR コードを表示している。スマートフォンや携帯電話はそこから、パソコンの場合はホームページから入力している。入力された内容を、まず、こちらで内容を確認し、放送上問題ないと確認したものを順番に放送している。また、現場のアナウンサーがタブレット端末で投稿されたコメントを紹介する取り組みをしたが、謙信公祭では、大変多くのコメントを投稿していただいたので、紹介することができなかった。

(中川委員長)

あらいまつりの花火大会について、生中継されることにより、会場への人出がへったというようなことはあったのか。

(池田委員)

そのようなことは聞いていない。ただ、スターメインなどの低い花火は近くに行かないと見えな

い。高く打ちあがる花火は自宅から直接見て、スターマインはテレビで見ていた、という話は聞いた。

(池田委員)

謙信公祭はたくさんカメラアングルがあったが、どれくらいカメラを設置しているのか。

(山岸)

出陣行列は4台のカメラで、川中島合戦の再現は3台のカメラで中継をした。

(品川委員)

自宅はおせん米の町内ですので、事前の練習風景の収録のときは、子どもが楽しみにしていた。

収録の日程が3回変わったので、撮影するスタッフは段取り・調整が大変だろうと感じた。

(西村委員)

おせん米の中継をみていると、関わる地域の方の熱心さ、伝統の重みと言うものを感じた。謙信公祭もいろいろなカメラアングルがあって楽しく見ることができた。

次の、防災訓練ではタブレット端末を使った中継があったが、画質にまだまだ課題があると感じたが、いろいろなメディアを取り入れていくのは重要だと思う。

(中川委員長)

地域を巻き込んで、いかに面白いコンテンツを作り出せるか、そういう視点で編成に取り組んでいただきたい。

### (3) - 2 上越市総合防災訓練（生中継）について

(山岸)

8月31日に実施された上越市総合防災訓練の生中継について説明した。

(池田委員)

このような番組をして、安全の取り組み防災について周知することは良いと思う。ただ、上越市役所での災害対策本部会議の様子は、間延びした感があるので、時間調整を事前に打合せできるのであれば、市のほうにお願いしても良いのではないかと。

(山岸)

今回の反省として、番組としてだけでなく、自分達の訓練も兼ねてもいたので、その点、視聴者の方にとってはわかりづらさや間延びした感を与えてしまったところがある。

(中川委員長)

総合防災訓練よりも、町内会単位、あるいは、コミュニティ単位の防災訓練のほうが、より生活感のあるわかりやすい内容であるというコメントをもらっているので、そのような視点で取材先の選定の工夫をしてほしい。

## 7. その他

- ・ J C V 秋の公開講座のご案内、10月から放送を始める番組「上越テレビみらい塾」について紹介。

## 8. 閉会

議事録作成人： 山岸 潤